

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2003-203091 (P2003-203091A)
 【公開日】平成 15 年 7 月 18 日 (2003.7.18)
 【出願番号】特願 2002-2860 (P2002-2860)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 17/30

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 7 0 Z

G 0 6 F 17/30 1 7 0 A

G 0 6 F 17/30 2 1 0 A

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 20 日 (2004.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一つまたは一連の文書を構成する文書データから当該文書を構成する単語あるいは文節を抽出し、抽出した単語あるいは文節に対応するキーワードを前記文書データから抽出するキーワード抽出部と、

抽出された複数のキーワードに基づいて表示用空間を設定し、前記文書を構成する各文の内容相互の関連性を前記表示用空間に視覚的に表示する関連性表示部と、

を備えたことを特徴とする文書速読支援装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の文書速読支援装置において、

前記関連性表示部は、前記各文の内容相互の関連性の度合いを前記表示用空間内における距離の遠近として視覚的に表示する

ことを特徴とする文書速読支援装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 記載の文書速読支援装置において、

前記関連性表示部は、前記各文のそれぞれに対応する識別子を表示する

ことを特徴とする文書速読支援装置。

【請求項 4】

請求項 3 記載の文書速読支援装置において、前記関連性表示部は、

前記識別子のいずれが選択されたかを検出する選択検出部と、

前記選択された識別子に対応する文に基づいて前記表示用空間の再設定を行う空間再設定部と、

を備えたことを特徴とする文書速読支援装置。

【請求項 5】

請求項 1 または請求項 2 記載の文書速読支援装置において、前記関連性表示部は、

前記識別子のいずれが選択されたかを検出する選択検出部と、

選択された識別子に対応する文を表示する文表示部と、

を備えたことを特徴とする文書速読支援装置。

【請求項 6】

請求項 5 記載の文書速読支援装置において、前記関連性表示部は、

前記文表示部に表示された文に含まれるキーワードのいずれが選択されたかを検出するキーワード選択検出部と、

前記選択されたキーワードに基づいて前記表示用空間の再設定を行う空間再設定部と、
を備えたことを特徴とする文書速読支援装置。

【請求項 7】

一つまたは一連の文書を構成する文書データから当該文書を構成する単語あるいは文節を抽出し、抽出した単語あるいは文節に対応するキーワードを前記文書データから抽出するキーワード抽出過程と、

抽出された複数のキーワードに基づいて表示用空間を設定し、前記文書を構成する各文の内容相互の関連性を前記表示用空間に視覚的に表示装置に表示する関連性表示過程と、
を備えたことを特徴とする文書速読支援方法。

【請求項 8】

請求項 7 記載の文書速読支援方法において、

前記各文の内容相互の関連性の度合いを前記表示用空間内における距離の遠近として視覚的に表示する

ことを特徴とする文書速読支援方法。

【請求項 9】

請求項 7 または請求項 8 記載の文書速読支援方法において、前記各文のそれぞれに対応する識別子を表示する

ことを特徴とする文書速読支援方法。

【請求項 10】

請求項 9 記載の文書速読支援方法において、

前記表示装置の表示画面上で前記識別子のいずれが選択されたかを検出する選択検出過程と、

前記選択された識別子に対応する文に基づいて前記表示用空間の再設定を行う空間再設定過程と、

を備えたことを特徴とする文書速読支援方法。

【請求項 11】

請求項 7 または請求項 8 記載の文書速読支援方法において、

前記表示装置の表示画面上で前記識別子のいずれが選択されたかを検出する選択検出過程と、

選択された識別子に対応する文を前記表示装置に表示する文表示過程と、

を備えたことを特徴とする文書速読支援方法。

【請求項 12】

請求項 11 記載の文書速読支援装置において、

前記表示された文に含まれるキーワードのいずれかが選択されたかを検出するキーワード選択検出過程と、

前記選択されたキーワードに基づいて前記表示用空間の再設定を行う空間再設定過程と、

を備えたことを特徴とする文書速読支援方法。

【請求項 13】

コンピュータを表示装置を備えた文書速読支援装置として機能させるための文書速読支援プログラムにおいて、

一つまたは一連の文書を構成する文書データから当該文書を構成する単語あるいは文節を抽出させ、

抽出させた単語あるいは文節に対応するキーワードを前記文書データから抽出させ、

抽出させた複数のキーワードに基づいて表示用空間を設定させ、

前記文書を構成する各文の内容相互の関連性を前記表示用空間に視覚的に表示装置に表

示させる、

ことを特徴とする文書速読支援プログラム。

【請求項 14】

請求項 13 記載の文書速読支援プログラムにおいて、

前記各文の内容相互の関連性の度合いを前記表示用空間内における距離の遠近として視覚的に表示させる

ことを特徴とする文書速読支援プログラム。

【請求項 15】

請求項 13 または請求項 14 記載の文書速読支援プログラムにおいて、

前記各文のそれぞれに対応する識別子を表示させる

ことを特徴とする文書速読支援プログラム。

【請求項 16】

請求項 15 記載の文書速読支援プログラムにおいて、

前記表示装置の表示画面上で前記識別子のいずれが選択されたかを検出させ、

前記選択された識別子に対応する文に基づいて前記表示用空間の再設定を行わせる、ことを特徴とする文書速読支援プログラム。

【請求項 17】

請求項 13 または請求項 14 記載の文書速読支援プログラムにおいて、

前記表示装置の表示画面上で前記識別子のいずれが選択されたかを検出させ、

選択された識別子に対応する文を前記表示装置に表示させる、

ことを特徴とする文書速読支援プログラム。

【請求項 18】

請求項 17 記載の文書速読支援プログラムにおいて、

前記表示された文に含まれるキーワードのいずれかが選択されたかを検出させ、

前記選択されたキーワードに基づいて前記表示用空間の再設定を行わせる、

ことを特徴とする文書速読支援プログラム。

【請求項 19】

請求項 13 ないし請求項 18 のいずれかに記載の文書速読支援プログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、文書速読支援装置は、一つまたは一連の文書を構成する文書データから当該文書を構成する単語あるいは文節を抽出し、抽出した単語あるいは文節に対応するキーワードを前記文書データから抽出するキーワード抽出部と、抽出された複数のキーワードに基づいて表示用空間を設定し、前記文書を構成する各文の内容相互の関連性を前記表示用空間に視覚的に表示する関連性表示部と、を備えたことを特徴としている。

上記構成によれば、文書速読支援装置のキーワード抽出部は、一つまたは一連の文書を構成する文書データから当該文書を構成する単語あるいは文節を抽出し、抽出した単語あるいは文節に対応するキーワードを前記文書データから抽出する。

これにより関連性表示部は、抽出された複数のキーワードに基づいて表示用空間を設定し、前記表示用空間に前記文書を構成する各文の内容相互の関連性を視覚的に表示する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、文書速読支援方法は、一つまたは一連の文書を構成する文書データから当該文書を構成する単語あるいは文節を抽出し、抽出した単語あるいは文節に対応するキーワードを前記文書データから抽出するキーワード抽出過程と、抽出された複数のキーワードに基づいて表示用空間を設定し、前記文書を構成する各文の内容相互の関連性を前記表示用空間に視覚的に表示装置に表示する関連性表示過程と、を備えたことを特徴としている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、コンピュータを、表示装置を備えた文書速読支援装置として機能させるための文書速読支援プログラムにおいて、一つまたは一連の文書を構成する文書データから当該文書を構成する単語あるいは文節を抽出させ、抽出させた単語あるいは文節に対応するキーワードを前記文書データから抽出させ、抽出させた複数のキーワードに基づいて表示用空間を設定させ、前記文書を構成する各文の内容相互の関連性を前記表示用空間に視覚的に表示装置に表示させる、ことを特徴としている。